

# 日本社会文化講座

## 第1回 あいまいな「日本」の文化

(日本文化、縄文文化、倭国、古墳、律令制、天皇)

## 第2回 共感しづらい「古代人」

(神祇祭祀、神道、古事記、日本書紀、万葉集)

## 第3回 仏教が「悟り」以外にもたらしたもの

(仏教、聖徳太子、僧尼令、寺院、仏像、日本霊異記)

## 第4回 「恋」と「四季」の誕生

(王朝文化、仮名、和歌、『古今和歌集』、『源氏物語』)

## 第5回 移ろいゆく歴史と社会

(顕密仏教、『新古今和歌集』、『平家物語』、『愚管抄』)

## 第6回 新しい仏教の登場？

(鎌倉仏教、本覚思想、浄土仏教、禅、仏画、絵巻物、慶派)

## 第7回 さまざまな顔を持つ神々

(神仏習合、本地垂迹、中世神話、中世神道、『神皇正統記』、『太平記』)

## 第8回 交差する人々と文化

(室町文化、古典、連歌、茶の湯、能、桃山文化、キリスト教)

## 第9回 せめぎあう「雅」と「俗」

(寛永文化、元禄文化、俳諧、浮世草子、浄瑠璃、琳派)

## 第10回 都市文化の洗練と「古代」の発見

(黄表紙、洒落本、戯作、浮世絵、歌舞伎、蘭学、儒学、国学)

## 第11回 「英雄」以外の人々による変革

(化政文化、寛政異学の禁、漢分脈、尊王攘夷、水戸学、平田国学)

## 第12回 祭祀と「文明」の時代

(明治維新、大教宣布運動、文明開化、明治憲法、国語、国文学)

## 第13回 思い悩む青年たちの登場

(平民主義、個人主義、近代文学、京都学派、近代仏教、無教会主義、日本美術)

## 第14回 デモクラシーと「日本的なるもの」

(大正デモクラシー、女性解放運動、人格主義、社会主義、日本主義)

## 第15回 「日本文化」のゆくえ

(戦後民主主義、戦後派文学、現代美術、映画、マンガ、アニメ)